

令和4年度 社会福祉法人 月形町社会福祉協議会事業報告

概況

長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業の中止や活動自粛が多い1年間となりましたが、当社協は第3期あずましプランが始まり、地域住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指す「地域共生社会の実現」に向けた推進を進め、課題解決に向け各関係機関や各種団体、地域住民と連携・協働を図ってまいりました。

サロン事業等については、コロナ禍での感染予防対策徹底により事業を中止する時期もありましたが、社会情勢、町の状況を見ながら、地区サロンや食堂など少しずつ事業を実施することができるようになってきました。相談体制や権利擁護体制については、生活課題に対応した地域住民への相談支援を実施し生活福祉資金貸付や必要なサービスの提供を行いました。社会福祉法人の経営については、組織体制強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化に努め、地域公益的な取組みについても町内にある社会福祉法人等との情報交換や地域住民に向けた公益活動について協力等を行いました。

1 重点事業の実施状況

- (1) あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくりについては、ボランティア活動の推進を中心に学生等の福祉教育や、地域住民に向けた「福祉でまちづくり事業」の実施を行いました。今年度は、ボランティア向けの研修会について新しい取り組みを行ったり、月形刑務所より除雪ボランティアの協力をいただきました。
- (2) ずっと受け止める暮らしに生きる仕組みづくりについては、見守り、サロン等の事業展開により地域に潜在している生活課題の発見やニーズについて、福祉活動専門員、生活支援コーディネーターを中心に訪問活動を行いながら行政、関係団体、住民の協力・連携を得ながら解決に向け努めてまいりました。各町内会では、ふれあいサロン活動、全町民対象のあずまし茶屋や食堂について、新型コロナウイルス感染対策を行いながら実施し、住民主体による参加運営が行われました。
- (3) まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくりについては、身近な地域で福祉の悩みごと等が相談できる総合相談や権利擁護事業について、積極的に住民周知等を行って

きました。そのことにより、制度だけでは解決が難しい方々や、低所得者支援を必要とする方々の発見、新型コロナウイルスによる生活困窮者への情報提供支援や相談に繋がり、問題解決に向けて貸付制度等の活用や就労支援について関係団体と連携を行いました。

福祉サービス事業については、訪問介護事業・障がい者地域活動支援センター事業に取り組み、要介護者及び要支援者等に対し支援サービスの充実に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染拡大時においても休業等はなく、感染対策を行いながら利用者支援を行うことができましたが利用者の減少は今年度も続いており事業運営は厳しい状況となっています。介護予防・日常生活支援総合事業については、生活支援協議会の開催を再開し協議することができました。

(4) しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくりについては、あずまし計画の事業実施と、評価を行いました。社会福祉法人の地域公益的な活動については、町民や関係機関の協力のもと新たな事業実施に取り組むことができました。また、月形町交流センターは指定管理者を受け管理、運営に努め住民へのサービス向上を図ってまいりました。法人運営については、財源状況が厳しい中で効率的で効果的な事業運営を図るため、専門職員の配置、事務事業の見直し等経費の節減・合理化に努め、運営充実を図ってまいりました。

2 事業実施状況

(1) 地域福祉推進事業

社会福祉協議会が行う地域福祉活動の取り組みや推進事業の情報を広く町民の皆様を紹介し地域福祉推進役としての社協の役割、相談機能を確認し、各関係機関等との協力を努めました。

- ★ 心配ごと相談所の開設 土・日・祝祭日を除く開設し、民生委員との連携のもと住民相談に努めました。

相談件数 なし

- ★ 総合相談

専門職による総合相談を、行政、民生委員、町内会、関係機関等と連携し対応しました。

相談件数 1件(実人数1名) 前年比-3件

内容 地域福祉サービス(配食)利用について

★ 社協だよりの発行

ホームページ 毎月5日更新

広報 7、10、12、3月発行し、全戸に配布、合わせて、道社協のホームページに掲載。

Facebook・Twitter 運用方針策定後、Facebook2/14より開始

★ 生活福祉資金の貸付

コロナによる緊急貸付、償還 令和2年度～

緊急小口資金 貸付件数 8件(内返還 1件)

総合支援資金 貸付件数 13件(再貸付・延長含む 内返還 1件)

コロナ関連による相談件数 3件 前年比-27件

貸付額 緊急小口資金 1,050,030円

総合支援資金 6,219,430円

月形社協貸付 貸付者1名(前年比-1人)／貸付額計80,000円

★ 北海道共同募金会月形町共同募金委員会への協力

新型コロナウイルス感染拡大防止が続き、イベントが中止となる中、各行政区、町内会、学校、ボランティア団体の協力により募金活動に努めました。今年度においても月形町キャラクターベルデくんのピンバッチを作成しています。

(2) 福祉振興事業

在宅生活に向けた様々な生活支援や相談について、積極的に情報提供・支援を行いました。

★ 在宅寝たきり老人等日常生活用品助成事業(おむつ代助成)

助成実人数 21名(前年比-3) 75件(前年比-49)

新規6名(前年比+2)

★ 高齢者、障害者等危険個所の除雪「福祉除雪」サービス事業

認定世帯 44世帯(前年比+10)

実施世帯 17世帯(前年比-1) 実施件数 100件(前年比+71)

作業 委託先 NPO 法人サトニクラス

★ 寝たきり老人等入浴事業利用促進

利用件数、相談等 なし

★ 団体助成等への協力

月形町老人クラブ連合会、月形町身体障害者福祉協会の事務を担当し事業の推進に努めました。また、月形町老人クラブ連合会、空知双葉里親会へ事業補助金の助成を行いました。

★ ふれあいいきいきサロン事業

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、昨年度より引き続き消毒、マスクの着用、換気等配慮しながら、内容を工夫し短時間で開催をしました。企画、実施等について、町内会、ボランティア、民生委員協力のもと行いました。

(1)ふれあいどようび

在宅障がい者の方々に呼びかけし定期的を実施。レクリエーション、昼食会等を行いました。 20回実施 延べ参加人数 193名

(2)市北6サロン

市北6町内会の高齢者を中心に茶話会、昼食提供、買い物バスツアー等を実施しました。 11回実施 延べ参加人数 120名

(3)北農場1サロン

北農場1町内会の高齢者を中心に、レクリエーション、昼食提供、買い物バスツアー等を実施しました。 11回実施 延べ参加人数 160名

(4)中和・月ヶ岡・新田ふれあいサロン

中和・月ヶ岡・新田地区の高齢者を中心に、レクリエーション、ビンゴゲームを実施しました。3月14日実施 14名参加

(5)赤川1ふれあいサロン

赤川1町内会の高齢者を中心にレクリエーション、防犯講話、買い物バスツアー等を実施しました。 11回実施 延べ参加人数 132名

(6)赤川3ふれあいサロン

赤川3町内会の高齢者を中心にレクリエーション、救急救命、講話等を実施し

ました。 9回実施 延べ参加人数 100名

(7)市南ふれあいサロン

市南地区の高齢者を中心にレクリエーション、介護保険講話等を実施しました。

11回実施 延べ参加人数 131名

(8)まんまるカフェ(0歳～就学前のお子さんを対象のサロン)

クリスマスプレゼント配布会を開催しました。

12月1回実施 参加人数 36名

★ ひとり暮らし等高齢者の配食サービス事業 (週3回実施)

対象者 26名(前年比0名) 配食日数 155日

延べ配食数 3,029食(前年比0名) 新規申請 10名(前年比+5名)

配食便り 毎月1回発行、行事弁当 4回実施

★ 福祉有償運送事業

要介護、支援者、障害者の町内へ通院、買い物等について福祉車両での輸送や障害者への町外通院、移動支援を行いました。

登録実者数 102人(前年比-17人)、延べ運行回数 707回(前年比-78回)

★ 日常生活自立支援事業

道社協からの委託を受け、相談対応や申請、関係機関との調整等を行いました。

継続利用者 2名 利用件数 延べ35回

生活支援員 1名

(3) 在宅福祉サービス事業

介護保険、障害者総合支援法のもと要支援者等への身体介護、家事支援、通院介護等について、利用者ニーズに配慮した人員体制をつくり、介護、支援の強化に努めてまいりました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大により、消毒やマスク着用の徹底、衛生資材の確保、また、感染になった場合の対応について全職員への周知、関係サービス機関との連携を図りました。今年度は、利用者の入院、入所が多く減員状況で苦しい経営が続いています。生活支援コーディネーターの事業については、生活支援協議会を再開し、高齢者のニーズにあった社会資源の開発について、地域包括支援センター、関係機関と連携し事業進めてまいりました。

★ 訪問介護事業

(1)高齢者

ケース人員 介護 16 名(前年比+2 名) (うち新規 5 名)
総合事業 6 名(前年比+1) (うち新規 1 名)
延べ件数 869 回(前年比-309 件)

(2)障がい者

ケース人員 居宅介護 14 名(前年比-1 名) 延べ件数 1,135 回(前年比-36 回)
移動支援事業 4 名 延べ件数 33 回 (+8 回)

★ 障がい者地域活動支援センター

地域で生活をしている障がい者に様々な活動体験を通し、生きがいや生活の質向上につなげるサービスを提供しました。今年度もコロナウィルスによる感染拡大のないよう、消毒、マスクの着用、体調管理に配慮し、休業することなく活動を実施することができましたが、施設でのクラスターにより、長期間利用できない方々もいました。加齢による心身面での機能低下で介助を必要とする利用者が多くなっており、職員配置を見直しや専門知識の向上と活動内容の工夫を行いました。また、創作活動や昼食提供には感染拡大防止に配慮しながら定期的なボランティアの参加をいただき、地域社会との交流を深めてまいりました。

- ・ 契約人数 9 名(前年比 0)
- ・ 延べ利用人数 1038 人 (前年比-109 人)
- ・ 入浴延人数 635 人 (任意選択事業) (前年比-105 人)
- ・ 送迎延人数 1,016 人 (任意選択事業) (前年比-131 人)

★ 共生デイサービス

町内の高齢者及び障がい者、家に閉じこもりがちな者、生活困窮者等の日常生活に支障のある方々について、制度の垣根を越えて地域活動支援センターと一緒にデイサービスを提供しました。2 名の方が利用し、生活状況の改善、心身機能の維持増進を図ることができました。

- ・ 契約人数 2 名
- ・ 延べ利用人数 166 人 (前年比-23 人)

- ・入浴延人数 166 人（前年比-23 人）
- ・送迎人数 29 人（前年比 29 人）

★ 生活支援サービス(有料による生活支援)

- ・登録者 1 名（前年比 0 人）
- ・実施状況 延べ 1 回（前年比 0）
- ・サービス内容 買い物

★ 生活支援コーディネーター活動事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、開催方法を工夫しながら事業を実施しました。協議会は、「有償ボランティア」について協議をし、意見をいただきながら、「ちょびボラ」サービスのモデル地区実施を行うことができました。

- ・生活支援協議会 5 回開催
- ・あずまし茶屋 11 回開催 延べ 157 名参加(月形温泉ホテルレストラン使用)
- ・あずまし食堂 10 回開催 延べ 567 名参加(月形温泉ホテルレストラン使用)

(4) 地域活動推進事業

ボランティアネットワークづくりの強化、資質向上を目指し、様々なボランティア活動への協力や紹介を行いました。また、今年度は新しい事業を取り入れ、住民の方々に参加いただきました。

★ ボランティアセンター運営事業

住民によるボランティア活動の推進を行い、個人ボランティア登録、団体、関係機関へのセンター活動の周知やコーディネートを行いました。

個人ボランティア登録 67 名、団体ボランティア 11 団体 199 名

センター運営会議 1 回

研修会参加 11 月 空知地区ボランティア研修会（オンライン） 8 名参加

2 月 ボランティアリーダー学習会（オンライン） 1 名参加

研修会実施 10 月、2 月 ボランティアスクール

2 月 ボランティア講習会

6 月、3 月 ボランティアミーティング

★ ボランティア団体への育成及び活動促進

活動団体への活動助成

3 団体へ補助金助成、4 団体へ老人世帯除雪援助事業の交付等を行いました。

学童・生徒のボランティア活動普及事業への協力

10 月～12 月 月形小 1,3 へ福祉総合学習の協力

★ 民生・児童委員・行政区長、町内会との連携強化

民生児童委員協議会の参加

各行政区・団体への地域状況把握

★ 地域福祉ネットワーク推進協議会事業

推進会議 3 回 事業計画策定、情報交換

研修等 新任研修会 10 事業所 19 名参加

世代間交流事業 8～9 月 高齢者向け「スマホ教室」133 名参加

3 月 一部オンラインにて

「アニマルキットづくり」 55 名参加

福祉従事者等スキルアップ研修(道キャリアパス支援事業)

3 月 オンラインにて実施 8 事業所 12 名参加

★ 地域見守り推進事業

見守り実施状況

対象者 42 名(前年比 0 名)

見守り回数 (訪問、電話、情報) 1,046 回(前年比+22 回)

サポーター 8 名(12 名担当)

研修状況

サポーター意見交換会 4 回

研修開催 11 月 「月形町福祉でまちづくり推進フォーラム」

(5) 社会福祉協議会の充実と財政基盤の強化

理事会、評議員会を開催し組織、並びに事務局体制の充実に努めました。

職員については、毎月所内での研修実施、所外研修等に参加し、知識向上に努めました。

社会福祉法人の公益的な活動については、関係団体と協力しながらサロン運営の活動を行うことができました。

★ 評議員会、理事会、事務局体制の強化

会議開催状況

理事会 6回

評議員会 3回

定期監査 4回

決算監査 1回

運営協議会 6月開催

役職員の研修及び調査活動

8月 地域支え合い活動空知地区推進セミナー 役員3名参加

関係機関、福祉団体との連携促進強化

情報交換や事業等において、行政区、町内福祉施設との連携を図りました。

★ 社会福祉法人等との連携

・ あずまし会議 新型コロナウイルス感染拡大防止により延期

・ 生活困窮者による安心サポート事業、居場所支援事業の実施(道社協)

★ 地域福祉実践計画推進に伴う住民懇談会の開催

まちづくりフォーラムを開催し、町民の意見を反映しながら第3期計画の見直しを行いました。

・ 第3期あずまし計画推進会議 10月、11月、3月実施

★ 交流センター指定管理

年間利用者数 9,114名(前年比-858名) 年間利用回数 768回(前年比+42回)

葬儀、法事等 16件(前年比-16回)

職員の状況

令和5年3月31日付退職

訪問介護員 中嶋 英子